

# 知っていますか？

## 子宮頸がんワクチン薬害を

### ～被害者とその家族から聞く～

数年前、多くの中高生が子宮頸がんワクチンを接種しました。その後、頭痛や関節痛など体中に激しい痛み、痙攣や記憶障害などの症状が現れるようになりました。症状を訴えている人に「心の問題だ」「思春期特有の症状だ」「気のせいだ」と厚労省やワクチンを製造販売した海外の製薬会社は言い、ワクチンを売り続けています。

子宮頸がんワクチンは他のワクチンに比べ副作用出現率が突出しています。現在治療方法が分からない状態が続き、健康被害は治っていません。なぜ彼女たちが被害にあったのか、当事者やご家族のお話を聞きながら、その経緯と問題を考えたいと思います。



日時：令和元年 11月17日 (日)

13:30～15:30 (13:00 受付)

場所：ウェルとばた 8階 81 会議室 北九州市戸畑区汐井町 1-6

参加費：無料 (申し込み不要)

問合せ先：全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

福岡支部代表 梅本 090-2517-8091